

会派調査（研修）報告書

平成29年11月 1日

胎内市議会議長
森田 幸衛 様

(報告者) 会派名 公明党

代表者名 渡辺 栄 六

会派調査(研修)について、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 平成29年10月25日 至 平成29年10月27日 2泊3日(3日間)	調査・研修 場 所	香川県多度津町 たどつオリーブ 生産組合 広島県尾道市 一般社団法人 尾道観光協会
調査・研修 事 項	多度津町 「香川県たどつ産オリーブに託す夢」 蒼のダイヤの6次産業化までの道程 尾道市 尾道および近隣エリアでの募集型企画旅行、 受注型企画旅行などの取り扱い		
調査・研修 出 席 者	渡辺栄六 (政和会) 渡辺 俊 森田幸衛 天木義人 小野徳重 森本将司 (胎政会) 佐藤武志		
相 手 方 (対応者)	多度津町 渡邊雅春(株式会社 蒼のダイヤ代表取締役社長) 尾道市 岡田豊明(一般社団法人 尾道観光協会専務理事) 壇上和伸(一般社団法人 尾道観光協会事務次長)		

調査の結果または概要

【多度津町】 多度津町は香川県中讃地区に位置する人口 2.4 万人の自然豊かな小さな町である。瀬戸内の小さな町であるが、長年ぶどうを育ててきた農家のモノづくりに対する真摯な姿勢と熱意は日本中、そして世界中の生産者に劣らないものであり、「赤いダイヤ」の生産者がプライドを賭けて育てたオリーブ「蒼のダイヤ」というストーリーをもってブランド化し販売促進につなげている。

【尾道市】 尾道は広島県東部に位置し、しまなみ海道沿線の向島、因島、生口島（瀬戸田）やその周辺の島々で構成され、年間を通して温暖な気候に恵まれている。社団法人尾道観光協会では、総収入額のうち業務委託受任が 31%を占めており、「おのみち映画資料館」や「尾道市公会堂」などの運営管理によるものである。また、駐車場収入・イベント収入・広告料収入といったその他自主事業が 24%、飲食・物販・宿泊業と行政からの補助金がそれぞれ 15%となっている。当観光協会は尾道市への誘客だけでなく、尾道市を訪れた観光客を周辺自治体に回遊させる事業を実施している。

調査の所見・感想

【多度津町】 かつては「赤いダイヤ」と呼ばれた「デラウェア」の産地として有名だったが、高齢化や後継者不足などにより、耕作放棄地が散見されるようになった。そこで考えられたのが、「オリーブ栽培」である。ブドウ栽培環境が、オリーブ栽培に適していることから、平成 21 年香川県農協部会を設立し、農業者 27 名が参加。平成 25 年オリーブを植栽し、一定量の収穫が見込まれたが、オリーブは他の農産物と異なり市場出荷できない。そこで多度津町に加工場を建設し加工販売を実施した。平成 27 年にはオリーブ果実 900 k g を新漬けに、6500 k g をオイルに加工し、初出荷・初出品で「蒼のダイヤ」が Olive Japan で金賞を受賞した。首都圏にアンテナショップを置き、ネット通販等のマーケット調査も行っている。豊かな自然の恵み、そして人の情けの深さで多度津産のオリーブを蒼のダイヤの 6 次産業までの道程でオリーブに託す夢と情熱が伝わってきた。

【尾道市】 尾道観光協会では、着地型旅行商品を作り始めたばかりの段階であるが、尾道周辺でしか作れない商品を開発したいと考えており、その商品を作ることで、地元へのより一層の経済効果を期待している。また、広島県の広報や雑誌など、費用のかからない媒体を中心に情報を発信行っている。コストを極力抑え、豊かな自然環境の特色を活かした観光事業の規模の大きさに圧巻させられた。